

平成29年度事務事業評価シート（重点戦略事業・施設等整備事業用）

1 基本情報

事業名	(仮称) 谷田・清戸市民の森整備事業		コード	2 - 3 - 1 - 1						
位置づけ	みどり活用プロジェクト		みどりがつながるまちづくり							
	自然とのふれあいや癒しの場としての里山の保全と活用									
事業期間	平成20年度～平成32年度		担当	環境建設部	環境課	課等長	川上 利一			
予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	1	事業	(仮称) 谷田・清戸市民の森整備事業
根拠法令			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業						

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	H21年度から千葉の里山・森づくりプロジェクト（県事業）を推進するため、谷田・武西地区においてNPOや事業者、行政などと協働し保全と活用システムを築き取り組みとして開始した。			
目的	対象（誰・何を）		意図（どういう状態にしたいか）	
	市民、環境関係団体		良好な自然環境を維持・保全し、里山や森林の新たな活用を図る。	
手段	・(仮称) 谷田・清戸市民の森を、地元代表者・関係団体等と市が連携・協働して新たな環境保全に取り組む仕組みを構築し整備			
	全体計画	H28年度計画	H29年度計画	H30年度以後計画
	162,387㎡	・土地所有者・地区協議 ・区域の決定 ・事業(計画決定・用地買収・整備)に対応する制度の検討 ・維持管理(除草) ・民有地の賃借等目標面積：55,082㎡(累計)	・土地所有者・地区協議 ・基本構想策定 ・維持管理(除草) ・協議会設置(市民・関係団体等で整備方法検討) ・民有地の賃借等目標面積：55,082㎡(累計)	・維持管理(除草) ・協議会(維持管理方法を検討) ・基本計画 ・民有地の賃借等目標面積：55,082㎡(累計)
	※H27未現在取得済面積：107,305㎡			

3 取組状況 (Do①)

H28年度取組状況	「(仮称) 谷田・清戸市民の森」整備区域決定のため、地元地権者代表との協議を継続したが、区域の決定には至らなかった	
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 整備について地元と市の考え方の違いを改善する。	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む） H28年度において市有地周辺の地権者に対するアンケート調査を実施し、地権者の意向把握ができた。これにより地権者代表との協議を行い、整備区域を決定する。

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度予算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度予算	H31年度予算
事業費計		A	263	1,362	224	98	
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他						
一般財源			263	1,362	224	98	0

評価対象年度	H28年度
--------	-------

区分		H27年度決算	H28年度予算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度予算	H31年度予算
人件費計		C	3,177	3,244	3,244	3,244	0
内訳	正職員	人数	0.40	0.40	0.40	0.40	
		人件費	3,177	3,244	3,244	3,244	0
	臨時職員等	人数					
		人件費					
総コストD=A+C			3,440	4,606	3,468	3,342	0
市民1人コストD/人口(円)			54.45	72.65	54.70		
受益者負担率B/D(%)							

5 指標 (Check①)

指標名		単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	指標の説明	
①	(仮称) 谷田・清戸市民の森用地取得(賃借)面積率	%	目標	66	66	66	100	当初計画に対する(仮称)谷田・清戸市民の森事業用地取得面積率	
			実績	66	66				
	種別	成果指標	指標の方向	↑	達成率	99.8	100.0		0.0
指標1単当たりコスト(千円)				-	-	-	-	コスト効率	-
②			目標						
			実績						
	種別		指標の方向		達成率				
指標1単当たりコスト(千円)				-	-	-	-	コスト効率	-

6 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
有効性	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	×	民有地の賃借等に関しては協議を継続しているが区域決定に至らず、スケジュールの見直しが必要となっている。
	手段は適切か、施設等の整備水準は適切か	○	
効率性	業務プロセス(進め方・手続き)に工夫の余地はないか	○	せんがみ谷津、沢山の泉は、千葉県企業庁から、緑地の保全を目的に土地の譲渡を受けることができ、効率的であった。但し、民間地権者とは丁寧な協議が必要であり改善の余地はない。
	工法の見直しなど事業費の削減の余地はないか	○	
	補助金などの財源を更に活用する余地はないか	○	
	実施体制(事務分担など)に工夫の余地はないか	○	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)	
	<input type="checkbox"/> 整備内容・水準の見直し (実施時期: H 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 整備スケジュールの見直し (実施時期: H 29 年 4 月) <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 工法や仕様の見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 特定財源の活用 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年 月)	
改善内容	市計画に対する協力の可否や賃借、売買(代替地)の条件等について地権者の意見把握ができたので、平成29年度はこれらを踏まえた協議を進め、計画区域を選定する。	
改善により期待される効果	地元と十分な協議を行うことにより、理解と協力を得ながら事業の推進が図れる。	

平成29年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 28 年度

1 基本情報

事業名	沿道みどりの推進事業		コード	2 - 3 - 2 - 1		
位置づけ	みどり活用プロジェクト		みどりがつながるまちづくり			
	市民によるみどりのネットワークづくりに対する支援					
事業期間	平成28年度～平成32年度	担当	環境建設部	環境課	課等長	川上 利一
予算科目	会計 一般 款 4 項 1 目 4 事業 10	★沿道みどりの推進事業				
根拠法令	白井市沿道みどりの推進事業補助金交付要綱		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	「花いっぱい運動」として、年2回、植栽活動を行う団体へ花の苗等の配布を続けてきたが、植栽時期が限定される等の課題があったため、団体が購入した草花の苗等の経費の一部を補助することとした。	
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）
	市民・市民団体等	沿道のみどりを増やすことにより、癒しの空間を広げ、ウォーキングや散策の活用等による、市民の憩いの場を創出する。
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ・市内の沿道に草花を植栽する団体に対し、草花の苗等の購入に要した経費の一部を補助	

3 取組状況 (Do①)

H28年度取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・団体に補助金を交付（35団体） ・補助金を交付した団体に、団体名を記載した専用の看板を配布 ・市HPや広報誌による事業の周知・啓発の実施 	
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）
		申請・実績報告の際、実施場所の写真を提出書類としていたが、高齢者等の団体から手続きが煩雑との意見があったことから、手続きを簡素化するため29年度申請分から職員が現場確認の際に写真を撮影する方法に変更した。

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度予算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度予算	H31年度予算
事業費計	A		620	347	414	414	414
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他						
一般財源		0	620	347	414	414	414
人件費計	C	0	811	811	1,622	1,622	1,622
内訳	正職員	人数	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		人件費	0	811	811	1,622	1,622
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C		0	1,431	1,158	2,036	2,036	2,036
市民1人コストD/人口(円)		0.00	22.57	18.26			
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	指標の説明
①	補助金の交付団体数	団体	目標	-	60	40	40	市から補助金の交付を行った団体数
			実績	-	35			
種別	活動指標	指標の方向	→	達成率	-	58.3	0.0	0.0
指標1単位当たりコスト(千円)				-	33.1	50.9	50.9	コスト効率 向上
②	種別	指標の方向	目標					コスト効率
			実績					
指標1単位当たりコスト(千円)								コスト効率

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	○	市が関与する必要性は薄れていないか
×	×	事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか
○	○	対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか
○	○	対象や意図を限定又は拡充する必要はないか
有効性	×	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか
	○	手段は適切か、サービス水準は適切か
	○	国・県・民間に類似の事業・サービスはないか
○	○	他事業との連携・統合の余地はないか
効率性	○	業務プロセス(進め方・手続き)に工夫の余地はないか
	○	民間委託や市民団体等との協働の余地はないか
	○	受益者負担について見直す余地はないか
	○	実施体制(事務分担など)に工夫の余地はないか
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 市では、年2回、希望する団体へ花の苗等の配布による「花いっぱい運動」を平成27年度まで継続してきたが、「花いっぱい運動」の廃止後も、本事業の補助金を交付を受け、自主的に植栽活動を行う団体が一定数いることから依然として対象者のニーズはあると思われる。	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)	
	<input type="checkbox"/> 目的(対象・意図)の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他	(実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月)
改善内容		
改善により期待される効果		